

みどり

一般社団法人
群馬県造園建設業協会

〒 379-2153
前橋市上大島町 25-5
TEL.027-290-2244
FAX.027-290-2245

2018.1.1 No.58

- 発行人／一般社団法人
群馬県造園建設業協会
- 事務局／〒 379-2153
群馬県前橋市上大島町 25-5
TEL.027-290-2244
FAX.027-290-2245
- 企画・編集／広報委員会
- 題 字／大澤正明 群馬県知事
- 表紙写真／チャツボミゴケ (中之条町)
撮影者・山田篤志

主な内容

年頭ごあいさつ	p2~4
協会ニュース／みどりの集い	p4~8
委員会報告他	p9
特集・防災協定による災害対応	p10~11
休憩室	p12~13
町の庭師の手帳より／表彰 今後の造園とは？／がんばれ後継者	
役員・会員名簿	p14~15
緑化技術シリーズ／編集後記／協賛企業	p16

謹賀新年



一般社団法人
群馬県造園建設業協会

会 長
須永 敏明

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては新春を健やかに迎えられた事とお慶び申し上げます。平素は協会活動に対しまして多大なるご協力を頂き心より感謝申し上げます。昨年は協会として新しい取り組みや活動がありました。一つは今まで協会が独自に行っていた技能講習会を、造園団体協議会として初めて行う事ができました。協議会としての協力体制が少しずつ進んでいます。また三人の顧問の先生方とランチミーティングを行い、忌憚のない意見交換ができ、自民党政調会への要望等に役立てる事が出来ました。10月には台風21号による災害に対して防災協定による災害復旧活動を、太田金山総合公園と観音山ファミリーパークで造園協として行いました。中でも金山は災害の規模も大きく、約3週間に亘り多くの会員の皆様に尽力して頂き、造園業者としての存在感を示せたのではないかと思います。自分の仕事を後回しにしても協力してくれた方々に感謝申し上げます。

さて昨年3月に決定した働き方改革実行計画が大きな課題になっています。どんどん減っていく若年労働者の問題は造園業界としても深刻です。職場環境を改善して働きやすい会社にしていく事が求められます。長時間労働の改善や休日取得の推進、女性が活躍出来る環境づくり等に取り組んでいかないと、若い人材を確保して定着させるには難しい時代になりました。協会としても青年部を中心に積極的に取り組んでいく予定です。

今年は協会を設立して50年を迎える節目の年になります。50周年事業として記念誌の発行、祝賀会の開催、社会貢献事業の実施を予定しています。50年前に協会設立に尽力してくれた方々やこれから協会を担っていく人達と共に50年の歴史を振り返り懇親を深められればと思っています。

結びに今年が皆様にとって希望の年になりますよう祈念して年頭の挨拶といたします。



群馬県知事

大澤 正明

明けましておめでとうございます。

群馬県造園建設業協会の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、1300年の長きにわたり守り続けられた「上野三碑」がユネスコ「世界の記憶」に登録され、県内は大きな喜びにわきました。八ツ場ダムの堤体工事も本格化し、31年度の完成に向けて着実に工事が進められています。地元の皆さまが安心して暮らせるよう、生活再建事業にしっかりと取り組みます。また念願であった国道17号上武道路が全線開通したことにより、群馬が誇る交通の優位性がさらに高まりました。人口減少社会にあっても県民一人一人が幸せを実感でき、将来にわたって住み続けたいとなるよう、総合計画に掲げた3つの基本目標「人づくり」「安全で安心できる暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の実現に向けて、今年もさまざまな施策を推進してまいります。

社会基盤づくりにおいては、新たに策定する「はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027」に基づき、10年後の39年度までの完成を目指し「7つの交通軸の整備・強化」を計画的に推進するとともに、「自動車以外の移動手段も選択できる社会」の実現に向け、公共交通の利便性向上や地域特性を踏まえた「新たな移動手段」の導入検討など「多様な移動手段の確保」に重点的に取り組んでまいります。また、近年、全国各地で発生している、想定を越える規模の豪雨による大規模な豪雨災害から、県民の命と暮らしを守るため、ソフト・ハードが一体となった防災・減災対策を推進してまいります。県民の皆さまにふるさと群馬への誇りと愛着をさらに深めていただけるよう「魅力あふれる群馬」の実現に向け、新たな「はばたけ群馬・県土整備プラン」に基づく社会資本整備にしっかりと取り組んでまいります。

そして、今年は「花と緑のぐんまづくり2018 in 吉岡」が4月14日から5月13日まで、吉岡町で開催されます。「ともに育てる花と緑の交流のまち」を開催テーマに吉岡町の魅力を再発見・再発掘・再認識していただけるよう皆様の御協力のもと、美しい花と緑でたくさんの方をお迎えしたいと思います。

結びに、この一年が県民の皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

謹賀新年



群馬県議会議員

中沢 丈一

新年明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年、私は、中小企業者の方と「働き方改革」について話をする機会がありました。社長は深刻に話し出しました。人手不足で募集をかけたところ、やっと採用でき、社員教育をして現場で働いてもらっていたら、仕事が合わないとの理由で辞められてしまった。正社員として頑張ってくれないかと懇願してもパート職で自分の時間を大切にしたいと断られた。納品日に間に合うようにと少しの残業を依頼すると「訴える」と答えてくるので、注文を断るケースが多くなっている。技術研修生を受け入れて何とか仕事を続けているとの事でした。働き方を変えれば、不満による離職を抑制し、採用・育成のコストも削減出来る。優秀な人材の採用率、定着率の向上にも繋がる。従業員が長期に企業に貢献する視野を持つようになる。企業の評判・信用力が向上すると言われています。政府の働き方改革実現会議では「働き方改革実行計画」が決定されました。罰則付きの時間外労働の上限規制や、同一労働同一賃金の実効性を確保する法整備を進める様であります。女性、高齢者等の誰もが生きがいを感じられる「一億総活躍社会」実現のカギであり、人口減少・少子高齢化が進む中での企業が避けて通れない重要な課題であります。

群馬県議会「労働力確保・働き方改革に関する特別委員会」では視察調査を行いました。徳島県では「テレワーク」の推進により「在宅勤務」「県庁サテライトオフィス」に取り組んでいました。岡山県内の企業は、障がい者の雇用拡大のための「特別子会社」を視察しました。

今春、県内高校卒業予定者の求人倍率は2.25倍との事であります。

群馬県内、緑化推進するためには群馬県造園建設業協会の力が必要であります。協会の益々のご発展と皆様のご多幸を祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。今年もよろしく願いいたします。



群馬県議会議員

久保田 順一郎

皆様には平成30年新年を迎え健やかなる新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は国内外共に時代の変動を予知させる様々な事象が垣間見られました。トランプ大統領の誕生、変わらぬテロの勃発、ロヒンギャ問題に至るまで世界の自由主義社会の通念が通らない時代の到来を思わせる事象が相次ぎました。特に、日本ではJアラートの発動は国内全体に緊張感をもたらせました。

さて、国内の政治事案では第48回衆議院議員総選挙ではなかったかと思えます。野党はミサイルが発射される度に静まり返り、「そば屋問題」ばかりを取り上げようとするマスコミ報道に右に倣へでは、現在の国が置かれている状況に実直な議論する意志がないと取られかねません。ちなみに、「モリそば」問題では数年前に群馬県境町に不法投棄された古タイヤが自然発火した事件の処理で、森友学園の敷地の1/3もない広さに群馬県は既に約2億2千万の処理費を費やしている例を見れば、廃棄物処理費が豊洲問題と同様いかにも多くの費用がかかるかは容易に推察出来るものであり、「カケそば」問題では牛の口蹄疫や狂牛病の時にその処理に日本中の獣医師が宮崎県に動員され、ペット獣医師より産業家畜系獣医師が不足し、当時公務員獣医師がいかにも不足していたか、会計検査院や日本獣医師会のズレた意見を待つまでもなかったと思われまふ。また、県内政界では館林の安楽岡市長の逝去に伴う市長選と補欠県議選、伊勢崎市・太田市長選挙、水上町長選挙等、県内地方自治体制にこれまでと違った変動の波が押し寄せたことを予感させるものがありました。低投票率と無関心に呆れるだけでなく、不安定な国際社会の中に、政府は政府で、地方は地方で自助の自覚喚起がなければ亡国の憂いはぬぐえなくなりました。

県ではお陰様で八ッ場ダムも昨年は本体工事の着工にいたり、7つの交通軸は先が見え始めました。人口減少時代の中、群馬県が出来ることを着実に進めて行くことが我々に出来ることです。本年も皆様にとって実り多い年でありますよう、地元群馬県の発展のため、皆様と共に取り組んでまいりたいと思えます。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



群馬県議会議員

橋爪 洋介

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年12月時点の各経済研究機関の発表によると全国の求人倍率も好調、とりわけ群馬県は全国平均を遥かに上回り、更に高校生就職内定率に至っては23年ぶりの高水準ということで、一方に経営面の課題として「労働力不足」と連動しているようであります。景気・雇用情勢が良いことは大歓迎ではありますが、業界によっては後継者不足にも直結をしています。私は現在、自民党群馬県連の商工議員連盟会長を仰せつかっておりますが、産業別の懇談会においても同様な意見が多数を占めています。昨年秋の衆院選において我が党の政権公約では、中小企業・小規模事業者の「世代交代」、「事業承継」を税制改正も含めて政策的に且つ積極的に進めて行くことと明記されています。特にオリンピックまでの3年間は設備面・人材面も含めての集中投資期間と謳っています。国の政策の波に乗って地方として、群馬県政として何を為すべきかということをご協会の皆様とともに考え、政策提言・予算要望をしてまいりたいと存じます。

話は変わりますが、わが家の隣りは比較的大きな公園です。春は桜が満開になり花見の人出で大いに盛り上がります。ですから秋になると桜と榎の落葉が拙宅の庭に山盛りになるわけです。わが家にとっては落葉の掃除がある意味「季節感」であります。プツプツ言いながらも落葉を集めていると、知らずのうちにじんわりと汗をかき、生きている実感が湧いてくる不思議なひと時を味わっています。

「なごみ やすらぎ 潤い」の言葉が表すように、人間にとって欠かせない、かけがえのない緑や木々を日常の中に豊かに演出していただける貴協会の益々のご発展と、会員皆様方の社業の繁盛をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

群馬県都市緑化祭 ふるさとキラキラフェスティバル 花と緑のぐんまづくり2017 in 富岡安中



2017年4月24日から5月23日にかけて「花と緑のぐんまづくり in 富岡・安中」が開催されました。

世界遺産登録された富岡市市街地を中心に立体花壇等により、春の花の香りに町中が華やかに飾花され、地域の人々や訪れる人々との交流を深める各イベントが開催されました。今回は富岡市、安中市共同開催であり、西毛エリアを花ラインにて結ばれました。安中市は碓氷峠の下、碓氷の森をメイン会場とし、各市内を多くのボランティアの協力にて花を植え、飾花しました。我々造園協会も富岡～安中花ライン中間地点に見本庭園を設置し、休憩中のドライバーに楽しんで頂けたと思います。本年度は、飾花等工事施工に関して群馬県当局より当協会メンバーが受注させて頂きました。今後も継続的に協会としても参加協力等させて頂きたいと考えております。

来年は吉岡町開催ですが、造園協会としては、みどりの清掃活動から始まり、緑化推進の為に頑張っていきます。(櫻造園(株)・櫻井 幹男)



関東甲信造園建設業協会 協議会



平成29年度関東甲信造園建設業協会協議会が10月13日(金)に千葉県千葉市で開催されました。「造園工事の減少に対する各都県の取り組みについて」の議題で各都県からの発表がありました。一部の地域ではオリンピック・パラリンピック開催で景気が良いと思われがちだがゼネコン、近縁企業の受注で偏りもみられ、造園業者が潤っている状況にないとの発表には驚きました。その他の各県の現状は公共及び民間工事いずれも発注が減少し、受

注競争は激化し、造園工事業の経営は極めて深刻な状況に置かれているとの意見が大半を占めていました。予算の確保と仕事の確保を重点ポイントとして各都県の試みを聞くにつけ、本県も将来のための最重要課題だと痛切に感じました。視察は、あいにくの天気でしたが幕張メッセ沖合遊覧と千葉ポートタワー見学に行きました。視察後の懇親会では各県バラバラにテーブルに分かれ、和気藹々な雰囲気の中で様々な意見が交わされました。

来年度は山梨県で開催されます。他都県の取り組み等を参考にすることで、本県の造園業の発展につながるのではないかと思います。この協議会の重要性を再認識いたしました。

(カネコ種苗(株)・山本 直)



関東三県公園緑地連絡協議会

太田の地に於いて関東三県公園緑地連絡協議会が開催されました。当日は中島知久平邸・高山彦九郎記念館を他県の方々と見学を行ってから会議に入りました。

今年度は街路樹管理についての議題で栃木県・茨城県の方々と話し合いました。両県とも昨今において予算の減少の為、道路緑化の維持管理として除草や剪定が減り景観が著しく悪くなっていると報告がありました。本県同様、予算の増額を県当局に働きかけているようです。また、毎年開催の会議を隔年への開催に変更議題があり、両県の役員の方に了承して頂きました。次回の会議は、茨城県が担当となることを確認し、閉会しました。

その後の懇親会の席上で、青年部の交流を開催しては如何との提案がされ満場一致にて決定しました。今後は、青年部同士での意見交換の場となることを期待します。

開催にあたり、当日及び準備等でご尽力頂きました総務委員会・東毛支部の皆様には大変有

難うございました。(有)川島植物園・川島 良則)



みどりの清掃



第23回みどりの清掃活動を11月11日(土)に{花と緑のぐんまづくり2018 in 吉岡～ふるさとキラキラフェスティバル～}開催地の吉岡町にて実施しました。

今回の清掃活動は道の駅よしおか温泉に集合～国道17号バイパス側道を北上し緑地運動公園で反対車線を折り返す約3kmを協会員やその家族、関係者の総勢70人が参加し約2時間の清掃活動を実施、併せて別動隊によるサイクリングロード沿線の樹木の刈込・剪定を実施しました。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。

また当日の駐車場の手配及び入浴券の提供を頂いた関係者の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。

(株)白石植物園・白石 修



安全衛生大会



10月19日、群馬県造園建設業会館にて平成29年度造園建設業務安全衛生大会が開催されました。来賓として群馬労働局長様、群馬県県土整備部都市計画課長様、建設業労働災害防止協会群馬県支部長様をお招きし開催

しました。第1部の安全衛生講話では寺村裕司労働安全コンサルタント事務所所長・寺村先生より「建設労働災害防止について」のテーマで講話を頂きました。動画を交えながら災害事例等をとても分かりやすく説明して頂き、施工現場における安全行動に対する意識を向上することができました。また、第2部の救命講習会では「心肺蘇生法・AEDの使用方法について」と題し前橋消防局中央消防署の方々の指導の下、実際に心肺蘇生法等の体験を行いました。いざという時の初動が非常に重要であり、万が一に備えて職場においても実践が必要であると感じました。今後も安全行動を実施し災害の発生が無いように努めていきたいと思えます。

(有)君島造園・君島 静夫)



勢多農林高校 インターンシップ受入



今年度も「実社会における労働を体験することにより、勤労観・職業観を育成するとともに、人間関係の大切さや協調性について学ぶ」という主旨のもと、勢多農林高校緑地土木科2年生（19名）8月30日～9月6日の平日6日間と1年生（20名）11月21日～24日の平日3日間について中毛支部を挙げて受け入れました。

弊社では、1年生2名を受け入れ、剪定により発生した枝葉を熊手で集積し、パッカー車に積み込む作業を中心に現場実習を行い、最終日には松の剪定やモチノキの刈込等、実際にハサミを使用した実習を行いました。また、実習中は弊社社員の指示に真剣なまなざしで耳を傾け、社員と協力・連携をとって作業をしている姿が見受けられ、このまま働いてもらえれば…などと思いつつ、彼女たちの進路に少しでも役立ててもらえたらありがたいです。

(有)富士造園・北爪 満



青年部視察研修



造園技術や知識の向上と、会員相互の親睦を目的に、平成29年9月18日～19日の2日間にかけて石川県金沢市で視察研修を行いました。

日本三名園のひとつである兼六園をはじめ、金沢城や成巽閣など歴史ある庭園や建造物を見学することができました。特に兼六園では、庭園内のガイドツアーに参加し、解説を聞きながら回遊することができ、新しい発見や、より深い知識を得ることが出来、有意義な研修が行えました。特に、前日までの台風対策としての松の養生などは特に印象的でした。また、市内各所に足をのぼすと武家屋敷跡や茶屋街など趣のある街並み、庭園があり、風情を感じながら研修することで感性を養うことができました。そして何より、この2日間が会員同士の交流の場となったことでより一層親睦が深まったと感じられました。

この研修で得たものや経験を、今後の仕事に生かせるよう、努力していきたいと思えます。

(有)青木造園・青木 慎二)



第43回ホリデーイン前橋



今年で43回目を迎えたホリデーイン前橋。敷島公園内で夏休みの最後を楽しむイベントが

開催されました。

本会青年部も昨年に引き続きミサンガ教室や竹細工を出店。日本造園連合会群馬県支部青年部様との共同で行いました。ミサンガ教室は相変わらずの人気で行列が途切れる事が無い状況でした。子供達の笑顔がとても印象的でした。このようなイベントを通じて会員同士の親睦を図ることと、子供たちに環境・景観に対する意識を少しでも持ってもらえれば参画した意義はあるものだと考えます。これから10年20年先を見据えた活動をこのホリデー前橋から発展させて青年部活動を更に活発に運営できるよう一致団結していきたいと思ひます。

造園業界の発展の為に広い視野をもって今できることから一步一步着実に積み上げていくことが大切であるとのイベントを通じて感じさせていただきました。来年も継続事業として関わっていききたいと思ひます。

(株)しみづ農園・清水 大助)



街路樹剪定士



(一社)日本造園建設業協会群馬県支部主催による街路樹剪定士研修会・認定試験が11月6日(月)・7日(火)と開催されました。受験者数23名の内、半数以上が当協会企業社員です。1日目は学科研修会を(株)山梅様にて行いました。9時から18時まで街路樹に関する講義を受けた後、1時間程の学科試験を受けて1日目終了しました。

2日目は実技試験です。受講者は2樹種を剪定します。太田市烏山中町県道78号線の街路樹(クロガネモチ)の剪定実技試験を9時から12時を午前の部、太田市城西町市道の街路樹(ヤマモモ)の剪定実技試験を13時から16時を午後の部として行われました。樹木の大きさが同じ大きさではない為、予定より1時間程遅れて終了となりましたが、受講者全員が真剣に

試験を受けていました。この事により群馬県では、250名以上の方が街路樹剪定士となります。観光県群馬として、街路樹が統一された樹形で、きれいな街並、景観が保たれる事を期待します。

(株)カネサ園・澤口 浩美)



技能講習会



平成29年7月30日、職業能力開発協会にて技能講習会が開催されました。今回は、造園団体協議会として、初めての共同開催となりました。

1級13名、2級12名と多くの参加者が集い、8月下旬に行われる技能検定合格を目指し、ノウハウを学びました。早朝は小雨が降っていましたが、早々に止み、曇り空の下の講習会で、真夏にしては非常に作業のし易い天候でした。

要素試験では、本番さながらの出題方法で、受講生たちは、非常に緊張した雰囲気の中、良い経験ができたのではないのでしょうか。

職人不足などが叫ばれる昨今、技術技能の向上に磨きを掛け、業界の今後の発展に結び付けば良いと思ひます。

(昭和造園土木(株)・石橋 修一)



全国都市緑化フェア視察研修 (横浜)



平成29年5月16日(火)に、第33回全国都市緑化「よこはまフェア」に会員有志23名で視察研修に行っていました。最初に横浜市グリーン事務所協会で横浜市実行委員会担当者、神奈川県造園建設業協会の方々から説明、講演を頂き、その後、メイン会場の【みなとガーデン】を視察しました。日本大通りの歩道は、豪華に飾花されていてとても綺麗でした。メイン会場の【みなとガーデン】では花壇はもちろんのこと、特に目をひいたのは、協賛企業のモデル庭園で、どれも創意工夫を凝らした力作で大変感銘を受けました。午後はサテライト会場である、【里山ガーデン】を視察しました。横浜市内とは思えない 自然の風景が残っている公園で、1haの大花壇にはデザイン的なクオリティーの高さを感じました。今年「山口フェア」が開催されます。参加を楽しみにしております。

(株)群馬清風園・木暮 一広



全国都市緑化フェア視察研修 (八王子)



秋の晴天、9月27日に25名の参加者で、全国都市緑化はちおうじフェアを視察しました。メイン会場である富士森公園では、最初に八王子市制100周年を記念した大花壇があり、その花壇には100種類ものペチュニアが鮮やかに植栽されていました。花とみどりのビレッジエリアでは、女性ガーデナーによるお話が聞け、女性ならではの色使いや心配りに感心しました。また15㎡の庭が19作品並ぶロードサイドガーデンも大変見応えがありました。今回視察したメイン会場の他、八王子市内にサテライト会場が6か所あり期間中様々なイベントが開催されているとのことでした。その他にスポット会場として、市内各地の街かどに花壇が設置されておりました。

今回の視察研修により、造園空間における様々なディスカッションができ、会員間の親睦もより深まったことと思われま

(上武緑化(株)・加藤 学)



5月4日(木)「みどりの日」にちなんで「みどりの集い」が東毛地区、邑楽郡邑楽町の群馬県緑化センターで開催されました。

当日は、苗木の無料配布や樹木医による樹木観察教室、剪定鋏・刈込鋏研ぎ方教室、四ツ目垣結び体験、きのご類の展示、地元特産品販売等各種団体が協賛出店協力をして、にぎやかに開催されました。

当協会(東毛支部会員)も無料配布で配られた苗木の植え方教室やみどりの相談窓口を実施しました。

また、毎年恒例となった子供達を対象と

5/4(木)みどりの集い

したスーパーボールすくいが大好評で、次から次と子供達がスーパーボールすくいに夢中になり、家族との楽しいひとときを過ごしたことと思います。

この様な協会活動をとおして、地域住民との親交を深め「みどりの集い」をきっかけに大人も子供も1人でも多くの方に緑に関心を持って頂きたいと思

います。
(株)カネサ園
澤口 浩美



故金子才十郎名誉会長を偲んで



造園建設業協会初代会長の金子さんは、本当に頼りになる素晴らしい方でした。協会創成期から長きにわたり会長職をお努めいただき、引き続き名誉会長として協会を牽引してくださいました。業界思いで、業界の皆が団結して育て上げなければ生き残れない業種だということある毎に聞かされました。また戦後前橋経済界の重鎮として長く係わってこられた政治経済の歴史から裏話や最新の情報を織り交ぜてとても聞き易くお話してくださいました。

群馬県造園建設業協会として初めての叙勲を受賞された清水一也さんの報告に伺った時に、協会が大変認知される会になった事に「本当に良かったね」と喜んで下さいました。「顧みれば協会も色々な事があったが会員がまとまって苦難を乗り越り今がある。これからも協会を大事にしてほしい」とのお話を聞き、身の引き締まる思いがしました。故金子才十郎様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

赤城グリーン(株) 荻原 武一

委員会報告

●総務委員長

荻原 健 (赤城グリーン(株))

1月、「賀詞交歓会」の開催。2月、当協会会員である萩原信行氏が「黄綬褒章」を、8月には中村米男氏が「旭日双光章」を受章され、協会が主催した祝賀会の担当をしました。

9月には「関東三県公園緑地連絡協議会」を太田市で開催し、栃木県・茨城県の造園協会の方々と、各県の公共事業の管理状況などについて意見交換を行いました。本県での開催に当たり、総務委員会で協議会会場や視察研修先の手配を行いました。

委員の方々の協力により、各事業を無事に終えることができました。ありがとうございました。

また、今年、協会創立50周年を迎えるにあたり、総務委員会も記念式典の準備を進めております。事業の成功に向け、これからもご協力のほど宜しくお願いいたします。

●技術委員長

川原田 和弘 (有安中造園)

技術委員長を務めております。川原田と申します。宜しくお願いします。

今年は、技術委員会の活動としては、造園技能講習会、安全衛生大会、共同購入事業、街路樹剪定士及び植栽基盤診断士資格取得への支援等を取り組みます。

これから、若年技術者の確保、育成が難しいと言われておりますが、若年者をはじめ、協会員の皆様に、技術の向上・育成・研修に貢献できるよう努めていきたいと思っております。今後ご協力お願い致します。

●広報委員長

山田 篤志 (株山晃)

昨年の委員会活動は、恒例となった「みどりの清掃」ほか2回の清掃活動、並びに協会の広報誌「みどり」の編集発行と基本的には二つの事業となっていましたが、全国都市緑化フェアが近隣都市開催だということもあり、10年ぶりに視察研修の復活（それも2回も）があり、久しぶりに見る参加者の顔ぶれが変わってきたことに驚きました。

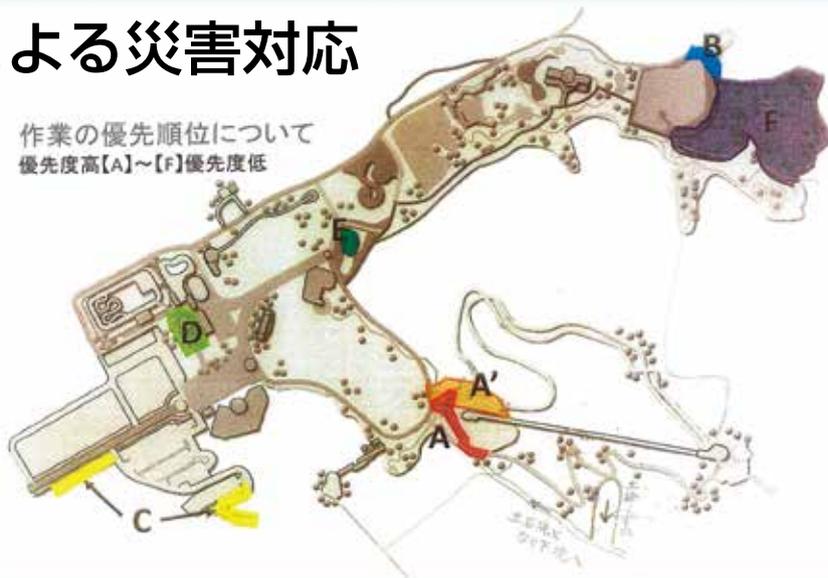
今迄外ばかり向いていた目を今後は、多少内にも向けた広報活動に努めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

特集

防災協定による災害対応

(株)カネサ園
澤口 浩美

作業の優先順位について
優先度高【A】～【F】優先度低



平成29年、台風21号は10月16日カソリン諸島で発生し、23日(日)3時静岡県御前崎市付近に上陸し、関東地方を通過し東北沖を抜けて、23日(日)15時に北海道を通りぬけた。平成27年の台風23号以来となる、強風域が半径800km以上の「超大型」台風であり、「超大型」のままの日本への上陸は1991年（平成3年）以来であり、10月23日に台風上陸という記録は統計史上3番目に遅いものである。この台風により、全国で死者9名、100名以上の方が重軽傷となった。

太田市においても10月19日(木)から強い雨が降り始め、21日(土)22日(日)は非常に激しい雨（50mm/h）猛烈な雨（80mm/h）を繰り返していた。22日(日)21時、大雨・洪水・暴風警報が発令された。23日(月)1時40分、土砂災害警戒情報が発表され、3時40分利根川水系1級河川石田川に氾濫警戒情報が発表された。避難準備、避難勧告が次から次へと発令され、気象警報がすべて解除となったのは、23日(日)12時15分である。この台風により、県立金山総合公園（こどもの国）では、西側の山際が縦30m横20m、600㎡以上の土砂がくずれ落ちて沢に流れ込み、土石流が発生した。土石流は、パノラマチェアの南の池や流れを呑みつくし、周辺の構造物や乗入口の周辺などは、深い所で1m以上の土砂が堆積し、パノラマチェアは、完全に稼働不可能な状態になっていた。

流出した土砂はパノラマチェア周辺に80%、残る20%は公園のあちこちに堆積していた。また、公園内の樹木も大木が50本以上倒木していて、大規模な台風災害となった。

この状況の中、群馬県と群馬県造園団体協議会（造団協）は、防災協定を締結していることから、太田土木事務所都市施設担当者、指定管理者、造団協とで金山総合公園台風21号によ





る被害及び対策の打ち合わせが、10月26日(木)に行われた。当協会東毛支部（太田地区）からは、会長を含め5社が出席した。（すでに東毛支部メンバーは、10月28日の県民の日を見据え、一部供用開始出来るよう、25日から復旧作業を始めていた。）

公園復旧作業計画については、公園全体をA～Fと6ヶ所のエリアに分け、指定管理者からは次のような説明があった。（場所等は、地図参照）

公園復旧計画の説明として、

1) 復旧計画の主旨の説明

①供用開始計画の説明

②パノラマチェア最優先での作業実施

2) 作業内容の説明

①パノラマチェア周辺の復旧作業

- ・ Aの山頂山麗間道路の開通（土砂除去・倒木除去）

- ・ 周辺の沢の暗渠流路確保

- ・ 山麗駅周辺長手古道の土砂石除去

②土砂倒木仮置き場通路開始作業

- ・ B, Cの倒木の除去

③サイクル広場の泥除去

- ・ Dバッテリーカー広場の泥除去

④幼児広場の泥除去

- ・ E砂場の泥除去

⑤野鳥の森の土砂除去園路復旧

- ・ Fの土砂除去園路復旧等

この事から各現場の施工手順の確認、作業スケジュールの確認をして、直ちに作業着手することとなった。しかし、10月29日(日)、台風22



号が再び関東地区に接近する影響から、2次災害の危険性を考慮し、パノラマチェア周辺の復旧作業は11月1日(水)から開始することとした。

それ以外の作業として、10月25日(水)から27日(金)にD, Eエリア等の土砂除去を完了、10月30日(月)31日(火)でB, Cエリア等の倒木撤去、搬出を完了した。

パノラマチェア周辺は当協会東毛支部（太田地区）を中心として、造園協の他団体からも数社参加して頂き、7社が毎日12名～16名復旧作業に従事した。当初11月1日から24日まで、3週間以上かかると考えていたが、11月1日から10日間で完了することが出来た。Fエリアについても11月16、17日に土砂撤去が完了し、すべての復旧作業が完了した。

パノラマチェアのベルトコンベヤーは1台破損したが、その後施設管理会社が清掃、整備、点検により復旧し、11月18日(土)から稼働した。

太田土木事務所の担当者様からは、11月10日(金)パノラマチェア周辺作業の最終日に、現場にて御礼のことばを頂けた。

この様に作業が予定を早めて完了出来たのは、造園建設業ならではの「小型建設機械」や「小型ダンプ」が10台以上投入された事により作業がスムーズに進んだためであった。

今回の災害復旧作業を通じて造園業界の結束の強さをあらためて実感するとともに、行政や関係各位に対しての造園力をアピールできたのではないかと思います。

Title

笑う門には福来たる

Memo

皆さんもご存知のことわざである。
意味はいつもにこやかに笑っている人の家には、自然に幸福がやってくるということ。
いつも笑って過ごせれば、こんないいことはないと思うのではないかと思う。
人間、笑い事じゃないことだらけの人生のような気がするのは、私だけではないはず。誰もが人間関係や仕事のことや家族のことなどそれぞれ多かれ少なかれ悩みをもっているのだと思うのである。
先日久しぶりにSNSをきっかけに再会した私の学生時代の後輩が、酒の席で、「会社の人間関係で悩んでいる」と暗い顔をして語りだした。
先輩先輩と慕って相談してくれるのは有難いことだと思い話を聞くと、完

町の庭師の手帳より

全にネガティブ思考に陥っている。
そういえばSNSにも何でこんなネガティブなネタを投稿するのがと気になっていた。
そんな後輩に思いつき笑顔（つくり笑い）で話した。
「まずSNSにはマイナス思考やネガティブなことは投稿するなよ。誰も見たいと思わない。」
「人間いろんな人がいるから、それぞれ合う、合わないがあるかもしれないが出会った人たちはすべて自分を成長させてくれる人と思えばイヤだと思っていた人でも成長させてくれる愛おしい人と思える。」
「考え方ひとつで楽しくもなるよ。」
「笑う門には福来たるって言うだろう。」
すっかり私は後輩そっちのけで自分に言い聞かせていたのでありました。
今年も皆様にとって笑顔あふれる一年になりますようにお祈り申し上げます。
(株)山田植物園・山田 進

表彰

おめでとうございます。



平成29年度
旭日双光章
前橋園芸(株)
代表取締役会長
中村 米男



平成29年度
優秀施工者
国土交通大臣
顕彰
(株)山田植物園
代表取締役
山田 進



※
平成28年度
群馬県
総合表彰
昭和造園土木(株)
代表取締役会長
石橋 照夫



平成29年度
群馬県
総合表彰
(有)川島植物園
代表取締役
川島 良剛



平成29年度
群馬県
優秀技能者
表彰
(有)青木造園
代表取締役
青木 一雄



平成29年度
全国建設
産業団体
連合会長
表彰
(株)共栄緑化
代表取締役
須永 敏明

※石橋照夫様につきましては前号手違いにより掲載されませんでしたので本号に掲載させていただきました。

公共に於いての施設や街路への植栽工事が著しく減った現在、緑地維持管理が主流になって来た。民間の植栽や植木の手入れ等に於いても情報過多によって競争が著しく多く成り、受注頻度の低下が発生している。各会社共頭を悩ませているのが現状である。HPの作成によるPRやチラシ等による宣伝等各社工夫を凝らして努力しているようだが、一部の会社のみのものである。造園一筋で行くのかそれとも関連した職種に進むのか、オーナーの考え次第である。ただ単に時間や月日を熟してきたならば行き着く先は見えてしまう。自社として得意分野はなんだろう？又何が出来るのだろう？何をして行かなければならないだろう？と模索しなければならない。造園以外に何が有って何が出来るのだろうか？植木のリース、植木の海外輸出、エクステリア関連工事、公共や民間の土木工事、電飾等の装飾工事、指定管理者制度、

今後の造園とは？

萩原造園土木株

萩原 信行

ゼネコンの下請等と内容としては幾らでもある。当然ながらリスクも生じるであろうが現状を維持するか前に進むかは自身の決断によるものが多い。失敗無くして成功は有り得ないし、失敗を恐れてはならない。チャレンジするならばその分野の調査研究は必須である。生易しい事で無い事も自覚すべきである。かと言って石橋を叩いても、渡らなければ尚結果が出ない。方向を決めたなら突き進まなければならない。又、時々立ち止まって周囲を見回して修正する事も必要である。多様化した現代に於いて柔軟に対応出来る組織づくりがより一層求められているのではないだろうか。技術集団としての「匠」として生きるのか、多角化を目指すのかはオーナー自身が決める事。決断は早期に行い努力する事が大事であると思うし、結果は自ずと付いて来るであろう。恐れずに一歩前に踏み出し会社の安定を願うばかりである。

がんばれ後継者!!



(株)菊地造園土木
菊地 章博

私が代表取締役社長に就任して1年半が過ぎました。作業現場とは違い経営者として采配を振るのは日々学ぶことばかりです。

先日、お客様から一通のお手紙を頂きました。お嬢様の結婚が決まり長く庭の手入れをしていただいている菊地さんへ、お祝いのお裾分けをしたいと、お菓子やお酒をいただいたのです。庭造りをとおしてご家族の幸せの瞬間を共に喜ぶことができるのは、ひとつひとつの仕事を丁寧にする職人のおかげであると実感した出来事でした。

普段はぶっきらぼうで職人気質の社員たちもそのときばかりは、満面の笑みを浮かべて喜んでいました。お客様と共に庭造りをとおして癒しの空間を提供していく。そんな会社を目指して努力を続けこれからも邁進していきます。



(有)山紅緑地
栗原 良治

幼い頃から、個人邸の手伝いに行き剪定枝の片付けをしたり、作庭を見に連れて行ってもらったり、気付けば庭づくりに魅了され、造園業に携わっています。

短期大学造園科を卒業後、横浜の造園会社に就職しました。民間では親方が良質な材料を厳選し個人庭を作庭していました。公共では道路維持管理、公園工事等を行っていました。公園工事では園路工から遊具設置、植栽すべてを造園会社に発注されるため、位置出しから施工までとても良い勉強になりました。

2002年、群馬に戻り造園業に励んでおりますが、課題に思うのは、若手社員の確保と育成です。現場における作業は楽ではなく根気のいる仕事です。その中でもいかにやりがいを見出して自分なりにどうやるか、日々葛藤しています。まだまだ未熟者で、至らないことが多く、皆様にも迷惑をお掛けしております。今後ともご指導頂きながら精進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。



(株)小泉農園
小泉 雄作

代表取締役に就任して一年あまりが経ちました。未熟者であることは重々承知しておりますが、しかしまさかここまでとは…と反省することしきりの毎日です。

庭や緑地に対するニーズが下がったと言われて久しく、我々の業界にも危機感を感じざるを得ません。我々の扱うものは時代錯誤の無用の長物なのでしょうか？

お客様と接していて常に実感するのは、我々の仕事は喜ばれる、ということです。我々の去った後は空間がよりきれいに、より使いやすく、より親しみやすくなるのだから当然といえば当然ですが、シンプルに、ダイレクトに顧客満足を実感できるのはこの仕事の醍醐味の一つでもあり、社会に対する我々の存在価値の表れでもあると思います。

時代のニーズには対処しつつも、業界に誇りを持って知識・技術・人間性を高めていこうと思う今日この頃です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

■ (一社) 群馬県造園建設業協会 役員名簿

	氏名	社名	住所	電話番号	
相談役	清水 一也	(株)しみづ農園代表取締役会長	高崎市柴崎町1563	027-352-2244	
会長	須永 敏明	(株)共栄緑化代表取締役	太田市浜町73-12	0276-46-3255	
副会長	櫻井 幹男	櫻造園(株)代表取締役	安中市安中1819	027-381-0144	
	川島 良則	(有)川島植物園代表取締役	館林市岡野町231	0276-72-1940	
	山本 直	カネコ種苗(株)部長代行	前橋市古市町一丁目50-12	027-253-9328	
専務理事	北爪 満	(有)富士造園常務取締役	前橋市富士見町時沢3135	027-288-4027	
理事	澤口 浩美	(株)カネサ園代表取締役	太田市熊野町19-1	0276-22-3575	
	木暮 一広	(株)群馬清風園代表取締役	前橋市関根町1-7-14	027-231-3863	
	大山 安	中央群馬工業(株)代表取締役	高崎市引間町42-2	027-373-1252	
	清水 大助	(株)しみづ農園専務取締役	高崎市柴崎町1563	027-352-2244	
	大澤 善昭	丸糸造園(株)代表取締役	邑楽郡千代田町赤岩2561	0276-86-3251	
	山田 通明	(株)山梅代表取締役	太田市上小林町226	0276-22-8551	
	山田 篤志	(株)山晃代表取締役	太田市龍舞町4685-3	0276-46-2762	
	荻原 健	赤城グリーン(株)代表取締役	前橋市小神明町459	027-231-0857	
	加藤 学	上武緑化(株)代表取締役	伊勢崎市連取町2355-10	0270-23-4050	
	坂本 登	さくら造園(株)代表取締役	伊勢崎市連取町3294-3	0270-23-0018	
	菊地 章博	(株)菊地造園土木代表取締役	伊勢崎市田中島町1421-5	0270-23-7482	
	小泉 雄作	(株)小泉農園代表取締役	前橋市亀里町147-1	027-265-0594	
	川原田和広	(有)安中造園代表取締役	安中市中秋間1528-1	027-382-1610	
	山口 雄資	群馬庚申園(株)代表取締役	藤岡市本郷820-9	0274-23-2826	
	岩崎 重雄	(株)八木造園代表取締役	高崎市京目町1197	027-352-8482	
	監事	熊倉 幹夫	熊倉造園土木(株)専務取締役	館林市近藤町2899-14	0276-75-1188
		藤井 明人	(有)藤井造園代表取締役	前橋市田口町567-1	027-232-8856
田中 広幸		多野造園土木(株)代表取締役	高崎市吉井町塩川113	027-387-5955	
齋藤 仁志		(有)中田計理事務所代表取締役	前橋市西片貝町5丁目18-14	027-243-5757	
事務局員	樋口則文子		前橋市上大島町25-5	027-290-2244	
	石崎久美子				

■ (一社) 群馬県造園建設業協会 会員名簿 (支部別50音順)

支部	社名	代表者名	住所	〒	電話番号	FAX
東毛支部	(株)金山園	塚本 将成	太田市細谷町124-2	373-0842	0276-32-3715	32-3605
	(有)川島植物園	川島 良則	館林市岡野町231	374-0067	0276-72-1940	73-8319
	(株)共栄緑化	須永 敏明	太田市浜町73-12	373-0853	0276-46-3255	46-3242
	熊倉造園土木(株)	熊倉 弘	館林市近藤町2899-14	374-0042	0276-75-1188	75-1191
	(株)新栄造園	石川 公吉	館林市上三林町1592-1	374-0046	0276-73-4197	72-6840
	増尾造園土木(株)	増尾 雅樹	邑楽郡邑楽町大字篠塚2939	370-0615	0276-88-3237	89-0752
	(株)松島造園土木	松島 和正	太田市宝町871	373-0042	0276-31-6390	31-4803
	丸糸造園(株)	大澤 善昭	邑楽郡千代田町赤岩2561	370-0503	0276-86-3251	86-3438
	(株)山梅	山田 通明	太田市上小林町226	373-0024	0276-22-8551	25-6372
	(株)山田植物園	山田 進	太田市安良岡町395-1	373-0811	0276-22-6007	22-6702
	(株)東毛造園土木	高橋 俊之	邑楽郡千代田町福島642	370-0501	0276-86-2423	86-5188
	(株)野村造園土木	野村 宣栄	邑楽郡千代田町舞木165-1	370-0504	0276-86-3641	86-5921
	(株)クツカク	野口 一雄	太田市大原町 2237-15	379-2304	0277-78-2050	78-2004
	(株)群馬緑営	大澤 成樹	邑楽郡千代田町福島442-1	370-0501	0276-86-2428	86-4888
	(株)山晃	山田 篤志	太田市龍舞町4685-3	373-0806	0276-46-2762	49-0150
	(株)丸善造園土木	小沢 正佳	太田市東金井町1880	373-0022	0276-22-1801	26-0217
	(株)森緑造園土木	高橋 光弘	邑楽郡千代田町福島642-33	370-0501	0276-86-2170	86-6285
	(株)カネサ園	澤口 浩美	太田市熊野町19-1	373-0025	0276-22-3575	25-2028
	(有)君島造園	君島 静次	邑楽郡千代田町新福寺455-1	370-0505	0276-86-2852	86-2630



なごみ やすらぎ 潤い
 …快適な緑の空間を
 演出します。

支部	社名	代表者名	住所	〒	電話番号	FAX
中毛支部	赤城グリーン(株)	荻原 健	前橋市小神明町459	371-0134	027-231-0857	231-0866
	上武緑化(株)	加藤 学	伊勢崎市連取町2355-10	372-0812	0270-23-4050	26-0694
	カネコ種苗(株)	金子 昌彦	前橋市古市町1-50-12	371-8503	027-253-9328	253-9352
	(株)群馬清風園	木暮 一広	前橋市関根町1-7-14	371-0047	027-231-3863	233-3953
	群馬緑化(株)	岡田 友子	前橋市敷島町248-13	371-0036	027-219-4193	219-4194
	群馬建苗(株)	今井 秀人	前橋市荻窪町426-3	371-0001	027-269-0421	269-0416
	昭和造園土木(株)	石橋 修一	前橋市苗ヶ島町858	371-0241	027-283-2363	283-2399
	さくら造園(株)	坂本 登	伊勢崎市連取町3294-3	372-0812	0270-23-0018	23-0115
	(株)中村造園	中村日出男	前橋市富士見町小暮2617-2	371-0103	027-288-2086	288-6306
	萩原造園土木(株)	萩原 信行	佐波郡玉村町樋越460-2	370-1103	0270-65-2757	65-3781
	(有)双葉造園	茂木 一彦	前橋市大友町3-14-9	371-0847	027-252-4128	253-3513
	前橋園芸(株)	中村敬太郎	前橋市亀里町201-1	379-2147	027-265-3131	265-3132
	(有)青木造園	青木 一雄	前橋市今井町687	379-2116	027-268-3973	268-3974
	(株)ウエトメ	渋沢 茂久	伊勢崎市境島村1968-352	370-0134	0270-74-9430	74-9048
	(株)高橋造園土木	高橋 副二	前橋市金丸町38	371-0121	027-269-3510	269-2132
	(有)富士造園	北爪 元	前橋市富士見町時沢3135	371-0104	027-288-4027	288-6490
	(株)治田造園土木	治田 貴典	利根郡昭和村大字系井7612-1	379-1203	0278-24-7356	24-7978
	(株)菊地造園土木	菊地 章博	伊勢崎市田中島町1421-5	372-0802	0270-23-7482	23-5652
	(株)小泉農園	小泉 雄作	前橋市亀里町147-1	379-2147	027-265-0594	265-4482
	(有)藤井造園	藤井 明人	前橋市田口町567-1	371-0048	027-232-8856	232-2644
(株)英 造園	町田 勝美	前橋市山王町1-38-5	379-2123	027-266-8723	267-0120	
(有)富田造園土木	富田 恭躬	前橋市二之宮町1068	379-2117	027-268-0782	268-5244	
(有)山紅緑地	栗原 武夫	前橋市金丸町232	371-0121	027-269-0250	269-0098	

西毛支部	(有)安中造園	川原田和広	安中市中秋間1528-1	379-0103	027-382-1610	382-5397
	群馬庚申園(株)	山口 雄資	藤岡市本郷820-9	375-0023	0274-23-2826	23-2967
	櫻 造園(株)	櫻井 幹男	安中市安中1819	379-0116	027-381-0144	382-5210
	(株)しみづ農園	清水 一秋	高崎市柴崎町1563	370-0035	027-352-2244	352-2236
	多野造園土木(株)	田中 広幸	高崎市吉井町塩川13	370-2134	027-387-5955	387-6818
	中央群馬工業(株)	大山 安	高崎市引間町42-2	370-3517	027-373-1252	372-1977
	新田造園土木(株)	新田 元大	藤岡市譲原1383-1	370-1402	0274-52-2198	52-2155
	飯塚緑地(株)	飯塚 勝	渋川市横堀775番地	377-0206	0279-53-3648	53-3694
	(株)藤松睦	茂木 桂子	多野郡神流町大字万場56-1	370-1504	0274-57-2324	57-2277
	(株)白石植物園	白石 修	富岡市藤木232	370-2307	0274-62-3091	62-3089
	(株)八木造園	岩崎 重雄	高崎市京目町1197	370-0011	027-352-8482	353-1558

平成29年12月1日現在

緑化技術シリーズ

マツノマダラカミキリの食害痕



マツノザイセンチュウを媒介して松類を枯死させるマツノマダラカミキリは、5～6月頃樹幹に産卵する。幼虫は樹皮の下を食害（写真参照）しながら進み、9月頃には心材を食害して成長し、越冬して翌年の5月頃羽化する。

樹皮をよく見ると皮の下にフラス（虫のフン）を見ることができるが、写真は多行松に侵入した幼虫の食害痕で、注意深く観察すれば発見できる。しかし、時はすでに遅く、樹脂は止まり10月までには葉が赤変して枯死する。

防除は事前の樹幹注入か、産卵期の薬剤散布を行う以外は極めて難しい害虫である。

樹木医 石橋 照夫

編集後記

例年、広報誌「みどり」の発行が終われば「ふ～」と息が抜けるはずなのに、何故か抜けない、何かが違う！何故だ？と考えてみたら、協会創立50周年記念誌の発行、そして直ぐに次号の「みどり」の編集が待っていたのだ。「ふ～」から「う～む」に変わった瞬間であった。（株山晃・山田 篤志）

協賛企業



株式会社 ニッパレンタール

■前橋営業所 前橋市西片貝町4-5-19
TEL.027-221-3151 FAX.027-243-5507

■高崎営業所 高崎市下小堀町1472-3
TEL.027-343-8808 FAX.027-343-8309

■高崎東・藤岡営業所 藤岡市中大塚208-1
TEL.0274-20-1711 FAX.0274-20-1713

■伊勢崎営業所 伊勢崎市三室町5917
TEL.0270-20-2250 FAX.0270-20-2252

■渋川営業所 渋川市半田3037-1
TEL.0279-60-5088 FAX.0270-60-5089

■吾妻出張所 吾妻郡中之条町伊勢町17-3
TEL.027-221-3151 FAX.027-243-5507

■太田営業所 邑楽郡邑楽町篠塚3473-1
TEL.0276-88-8411 FAX.0276-88-8412

■足利営業所 栃木県足利市小俣町358-3
TEL.0284-62-5076 FAX.0284-62-5175



NISHIO

西尾レントオール株式会社

■高崎営業所 〒370-1135
群馬県佐波郡玉村町大字板井744-1
電話 0270-65-0391 FAX 0270-65-9206

■太田営業所 〒370-0314
群馬県太田市新田市野井町999-1
電話 0276-57-4240 FAX 0276-57-4509



株式会社 アクティオ

■富岡営業所 富岡市黒川645-1
TEL.0274-64-4053 FAX.0274-64-4056

■高崎営業所 高崎市宮原町10-3
TEL.027-330-3411 FAX.027-330-3401

■太田営業所 太田市下浜田町369-32
TEL.0276-47-1410 FAX.0276-47-1413

■前橋営業所 前橋市六供町1391-1
TEL.027-243-9141 FAX.027-243-9144

■渋川営業所 渋川市白井2340
TEL.0279-60-5522 FAX.0279-60-5523

■吾妻営業所 吾妻郡東吾妻町松谷129
TEL.0279-67-2291 FAX.0279-67-2293

■伊勢崎営業所 伊勢崎市粕川町1806
TEL.0270-26-4145 FAX.0270-26-4146



建機レンタル・環境機器・イベントプロデュース

KOEI コーエー株式会社

■前橋センター/前橋市富士見町時沢106
TEL 027-288-2333 FAX 027-288-7101

■高崎/高崎市八幡原町208
TEL 027-347-0309 FAX 027-347-4522

■太田/太田市藤久町914-7
TEL 0276-31-1823 FAX 0276-31-5026

■桐生/桐生市新里町新川753-1
TEL 0277-32-5572 FAX 0277-32-5573

■沼田/沼田市栄町506-1
TEL 0278-24-5118 FAX 0278-22-5118

■吾妻/吾妻郡東吾妻町原町203-1
TEL 0279-68-4132 FAX 0279-68-5128

■長野原/吾妻郡長野原町大字羽根尾546-5
TEL 0279-82-2525 FAX 0279-82-3771

■富岡/富岡市神農原723-1
TEL 0274-63-5124 FAX 0274-63-7232

■藤岡/藤岡市大字藤岡2154-1
TEL 0274-24-6034 FAX 0274-24-6035

■神流町/多野郡神流町大字青梨873-1
TEL 0274-57-2316 FAX 0274-57-3376

当協会と一緒に活動していただける会員を募集中です。